

大阪府立青少年海洋センター



(福祉部子ども家庭局子ども青少年課)

【大阪府立青少年海洋センター】

設置目的	青少年に自然と親しむ健康で文化的なレクリエーション活動の場を提供し、もって青少年の健全な育成を図るため。 ＊昭和 44 年度「大阪府青少年海洋活動施設基本構想」 ＊昭和 45 年度「都市計画法緑地として都市計画決定」		
開設年度	・本館	昭和 50 年度	設置者 大阪府
	・ヨットハウス	平成 5 年度	
主な事業	ヨットやカヌー等の海洋性スポーツ活動事業、キャンプ事業等		
所在地	泉南郡岬町淡輪 6190 番地		
アクセス	南海本線「難波」駅から和歌山方面行特急サザン「尾崎」駅乗換、「淡輪」駅下車、徒歩約 10 分（約 1 km）		
休館日	・本館	12月31 日から翌年 2 月末日まで	
	・ヨットハウス	毎週火曜日（祝日の場合、翌日）※火曜日以外の休日もあり 12月29 日から翌年 1 月 3 日まで	
開館時間	・本館	日帰り利用：午前 9 時から午後 5 時まで 宿泊利用：午後 3 時から退所日の午後 2 時まで	
	・ヨットハウス	平日：午前 9 時から午後 5 時まで 土・日・祝日：午前 9 時から午後 8 時まで	

【大阪府立青少年海洋センター】

■敷地面積：112,486.22㎡（ファミリー棟の敷地含む）

・本館

* 宿泊管理棟（宿泊は1人1泊、日帰りは1人の利用料金（全て消費税込））

区分	青少年				一般	
	20歳未満		20歳以上30歳未満		30歳以上	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
府内の者	1,580円	715円	2,355円	1,070円	3,090円	1,425円
府外の者	1,885円	855円	2,835円	1,275円	3,770円	1,715円

・宿泊利用：入所日の15時～退所日の14時
 （15時以前の入所、14時以降の退所は、別途日帰り料金が必要）
 ・日帰り利用：9～17時

施設内容
・
利用料金

* 集会展示棟 * 体育館 * 艇庫 * スタッフケビン * 広場 * 自炊場

【附帯設備】

* カッター（1人1回1時間未満 315円、1時間以上 380円）

* オプティミストディンギー（1艇1回 1,570円）、クルーザー（1人1回 520円）他

* カヌー（一人乗り用 1艇1回 635円、三人乗り用 1艇1回 1,785円）

* 野外炊さん用具（1人1回 105円）

・ヨットハウス

* 会議室（午前 1,470円～5,655円、午後 1,885円～7,335円）

* 和室（午前 775円～1,550円、午後 1,050円～2,100円）

* 喫茶コーナー

R2年度利用者数

26,787人（宿泊 7,106人、日帰り 19,681人）

現在の指定管理者

【指定管理者】 ナンブフードサービス(株)、NPO法人NAC、(株)BSC・インターナショナル

【指定期間】 令和3年4月1日～令和6年3月31日

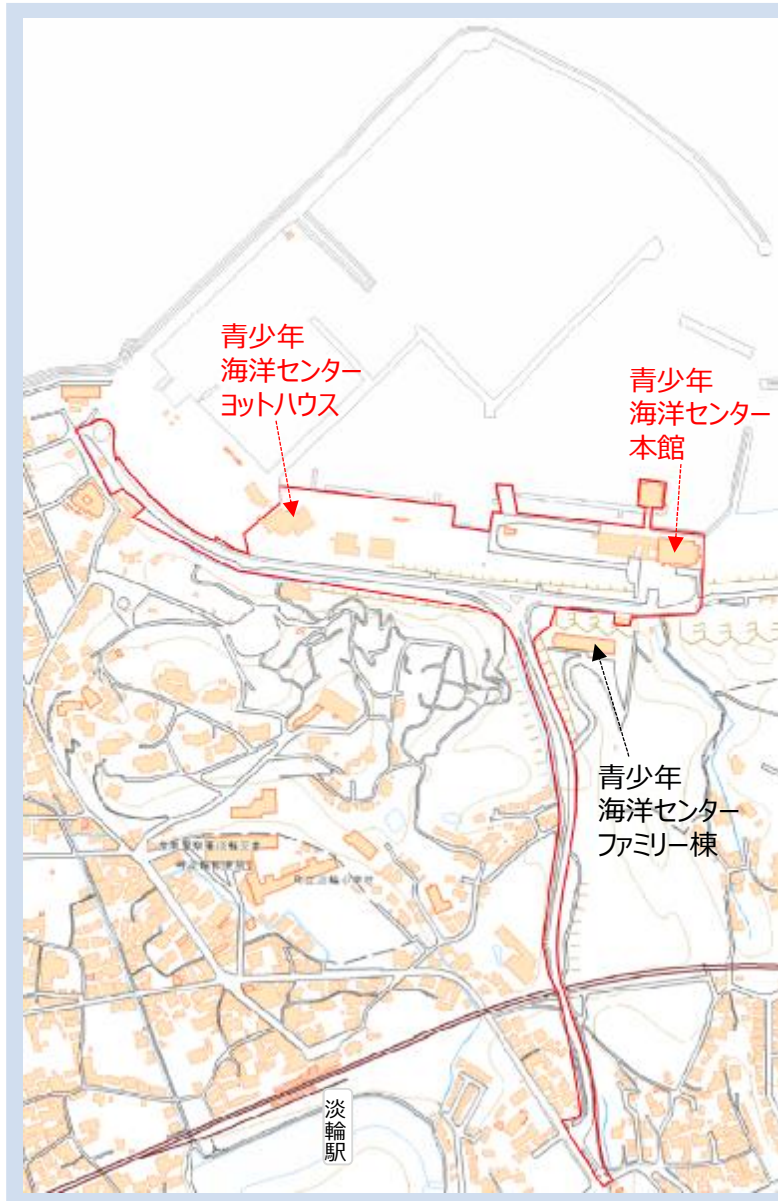
【委託内容】 施設の利用に関する業務、施設の維持補修、各種プログラムの開発・実施、その他施設の管理運営に係る業務全般

【指定管理料】 301,000千円（3年間）

<目次>

1. 施設周辺地図・施設外観・施設内観
2. 施設配置図
3. 施設概要
4. 事業内容
5. 平成**28**年度から令和**2**年度までの実績
6. 施設のあり方についての検討状況
7. 府が考える主な課題
8. 民間事業者に対して期待すること

1. 施設周辺地図・施設外観・施設内観



・本館



・ヨットハウス



2. 施設配置図



※ファミリー棟（愛称：マリンロッジ海風館）について

* 設置目的：青少年を中心とした小グループやファミリー向けの宿泊施設として平成6年度に開設

* 主な事業：宿泊、レストラン事業等

* 運営形態：指定管理者による管理（指定管理料（府委託料）なし。利用料金収入による運営。）

【指定管理者】ソーシャルリゾートみさき

【指定期間】令和4年4月1日～令和9年3月31日

【委託内容】施設の利用に関する業務、施設の維持補修、その他施設の管理運営に係る業務全般

3. 施設概要

<p>設置目的</p>	<p>青少年をはじめとする府民に自然と親しむ健康で文化的なレクリエーション活動の場を提供し、青少年の健全育成を図ることを目的とし、昭和50年に開設しました。</p> <p>平成5年には会議室を備えた「ヨットハウス」を、平成6年には青少年を中心とした小グループやファミリー向けの宿泊施設である「ファミリー棟」を開設しました。</p>	
<p>特徴</p>	<p>大阪府の南端、府内唯一の自然海岸が残る泉南郡岬町にあり、眼下に広がる大阪湾には、淡路島や六甲の山並み、関西国際空港に降り立つジェット機等が展望できます。</p> <p>隣接する「淡輪ヨットハーバー」（運営：一般財団法人大阪府マリーナ協会）や「せんなん里海公園」とともに、海洋性スポーツ・レクリエーション活動の拠点形成としての一翼を担っています。</p> <p>運営に当たっては、青少年施設としての基本コンセプトを遵守しつつ、魅力ある施設運営を目指しています。</p>	
<p>・本館</p>		<p>ヨットやカッターボート、カヌー等の海洋性スポーツ・レクリエーション活動をはじめ、自然環境を生かした海浜・海岸活動や体育館、研修室等を利用して宿泊を伴う自主活動も実施することができます。</p>
<p>・ヨットハウス</p>		<p>ヨットをイメージした外観。会議室や和室等を備えた施設です。</p>
<p>※ファミリー棟</p>		<p>海を行く客船をイメージした外観、そして、ユニークな客室やレストラン、テニスコート等を備えた宿泊施設です。宿泊室20室、定員80人。</p>

4. 事業内容

管理運営	基本方針	<p>利用者ニーズを十分把握し、利用者の安全確保を前提としながら、施設を活用した事業の内容や水準の向上等を図ること。</p> <p>施設の利用が安全かつ効果的・効率的に継続できるよう、周辺自然環境や設備状況等を熟知し、利用者やボランティア、関係機関等と連携した管理運営を行うこと。</p> <p>幅広い利用者を確保し、施設の効用を最大限に図るため、設置目的に即した自主事業を積極的に展開し、施設の魅力向上に努めること。</p>
	業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設の利用に関する業務（利用の承認、その取消し、その他の利用に関する業務） ② 施設の維持及び補修（設備・備品・周辺環境等含む） ③ 施設で実施する各種プログラム（海洋活動、自然体験活動）の実施及び研究・開発 ④ 海洋センター本館食堂の運営 ⑤ 指導者養成（海洋センターにおける施設専属指導者の養成） ⑥ 府民のレクリエーションの振興や青少年の健全育成を図るための関係機関との調整やネットワークの形成（淡輪ヨットハーバー及びせんなん里海公園との相互連携）
現在の主な自主事業	・給食業務	施設利用者への食事の提供
	・主催事業	障がいのある方やその家族を対象とした海洋活動、自然体験活動プログラムを含むキャンプ等のユニバーサル事業
	・売店業務	利用者の利便性及びサービス向上のため、日用品や薪、炭、プログラム材料等の販売

5. 平成28年度から令和2年度までの実績

- ・5年間の総収入：1,296,542千円（うち府委託料 514,737千円）
- ・5年間の総支出：1,343,413千円
- ・5年間の総損益：▲ 46,871千円

(単位：千円)

収支

	H28	H29	H30	R1	R2
収入	284,626	279,349	274,081	269,442	189,045
利用料金収入	171,283	174,469	167,311	163,360	58,753
施設利用料	102,346	104,970	100,754	95,124	39,183
ヨットハウス利用料	63	58	75	72	72
食堂利用料	63,941	64,301	62,717	60,740	17,894
その他	4,933	5,140	3,765	7,425	1,605
自主事業収入	9,466	8,644	10,589	10,043	7,888
委託費収入	103,877	96,236	96,181	96,039	122,404
支出	283,366	280,529	286,363	281,247	211,907
事業経費	214,414	210,046	216,242	216,506	179,300
食堂部門経費	68,952	70,483	70,122	64,741	32,607
損益	1,259	▲ 1,181	▲ 12,282	▲ 11,805	▲ 22,862

利用者数

- ・5年間の総利用者数：292,461人（宿泊 135,416人、日帰り 157,045人）
- ⇒学校等の団体利用が多くを占めています。コロナ禍における自然体験需要の高まりで、青少年やその家族を対象としたキャンプやイベント等自主事業での個人利用も増えています。

(単位：人)

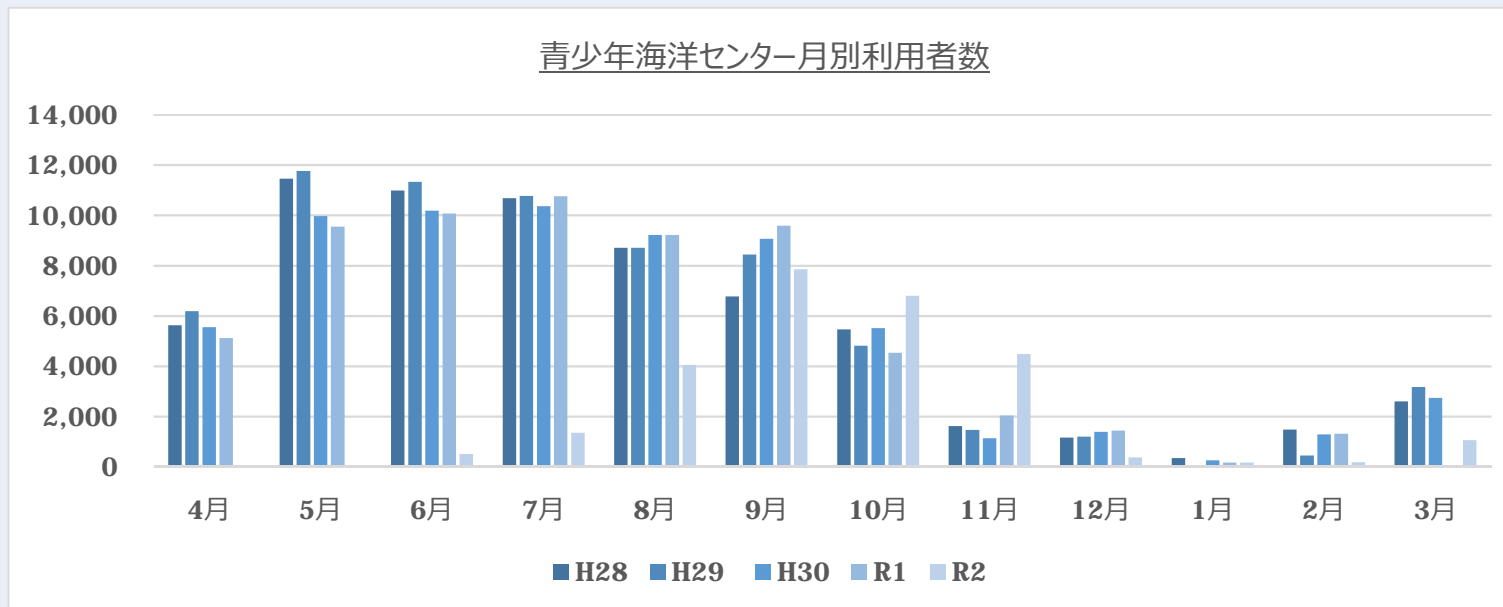
	H28	H29	H30	R1	R2
宿泊	32,475	33,632	32,039	30,164	7,106
日帰り	34,441	34,706	34,595	33,622	19,681
合計	66,916	68,338	66,634	63,786	26,787

6. 施設のあり方についての検討状況

令和2年度	<p><u>海洋センターに係る公民連携可能性調査（PFI導入可能性調査）の実施</u></p> <p>【調査内容】 海洋センターの管理・運営等について、データの収集・分析、事業スキームの構築、シミュレーション等を実施し、民間資金等の活用事業の導入可能性に関する調査を実施。</p>
令和3年度	<p><u>管理運営等に係る民間投資意向調査（個別ヒアリング）</u></p> <p>【調査内容】 R2年度公民連携可能性調査を踏まえ、具体的な検討を進めるに当たって、民間投資意向を個別にヒアリング。</p>
令和4年度	<p>【取組内容】 コロナの影響による施設運営状況の確認、万博へ向けた取組みへの対応等も踏まえ、引き続きPFI事業実施等について検討。</p>

7. 府が考える主な課題

- ① 築**47年**が経過し、施設（建物・設備ともに）が老朽化している。
⇒ 利用者サービスの低下が懸念される。
- ② 維持補修に必要な費用が年々増加している。
⇒ 今後、大規模改修も必要となってくる。
- ③ 利用が夏場（**5月～10月**）に集中している。
⇒ 閑散期の収入増が課題となっている。



8. 民間事業者に対して期待すること

- ① 施設の維持保全に必要な最低限な補修費用を確保するための収益アップのアイデア（自主事業・収益事業等）
- ② ①を実現するために府に求められる財政負担を伴わない支援・施策に関するご意見（規制緩和等）



最後までご覧いただき、ありがとうございました！

【お問合せ先】

担当所属：大阪府福祉部子ども家庭局
子ども青少年課青少年育成グループ

電話番号：06-6944-9147

メール：kodomoseishonen@gbox.pref.osaka.lg.jp